

News release

2015年の災害による世界の保険損害額は370億米ドル:天津の爆発事故が最大の保険損害であったことがスイス・リーのシグマ調査で明らかに

- 2015年の自然災害および人災による世界の保険損害額が370億米ドルに達し、直近10年の年間平均額である620億米ドルを下回る
- 保障の対象となっているのは世界の経済的損失総額のわずか約40%
- 中国・天津港での爆発事故は昨年最大の保険損害事象となり、人災による損害額としてはアジアで過去最大
- 天津爆発事故に関する特集では、大規模物流拠点における集積リスクについての認識ギャップに注目
- 2015年の自然災害発生数は198件で、シグマ調査の開始以来最多
- 2015年に自然災害および人災による犠牲者数は26,000名超

チューリッヒ、2016年3月30日 – スイス・リー・グループ(以下、スイス・リー)の最新のシグマ調査によると、2014年の自然災害および人災による世界の保険損害額は370億米ドルとなり、直近10年間の平均である620億米ドルを大幅に下回りました。昨年発生した災害は353件でした。そのうち198件が自然災害によるもので、これはシグマ調査によると1年間の件数としては最多となります。

2015年の自然災害および人災による経済的損失総額は920億米ドルでした(2014年は1,130億米ドル)。そのうち約800億米ドルが自然災害による損失で、なかでもネパールの震災が最も大きな損失の原因となっています。世界の経済的損失は、直近10年の年間平均損失額である1,920億米ドルを大きく下回っています。370億米ドルにのぼる世界の保険損害のうち280億米ドルは自然災害に起因するもので、これは2014年と概ね同水準となりました。昨年最大の保険損害事故では財物損害の総額が250億から350億米ドルと推定されており、これは8月に中国の天津港で2回発生した大規模爆発が原因でした。

2015年、損害に最も苦しんだアジア

アジアにおける全災害の経済的損失は、380億米ドル近くになりました。ネパール地震は昨年世界最大の災害で、9,000人近くの命を奪い、単独の

Media Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 7171

Lucia Bevere, Zurich
Telephone +41 43 285 9279

Thomas Holzheu, Armonk
Telephone +1 914 828 6502

Clarence Wong, Hong Kong
Telephone +852 2582 5644

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
P.O.Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999

www.swissre.com
 @SwissRe

災害で失われた人命としては最多となりました。インド、中国、バングラデシュにおける被害を含むネパール地震の損害総額は 60 億米ドルと推定されています。その他、アジアで巨額の損失を生じた災害としては日本を襲った台風 15 号(アジア名コーニー)、インド南部の洪水、天津の爆発事故が挙げられます。スイス・リーのチーフ・エコノミストであるカート・カールは次のように述べています。「ネパールの地震は首都カトマンズ近郊を襲い、甚大な被害をもたらしましたが、その大部分が付保されていませんでした。またしても、悲劇は自ら対策を講じることが困難である地域を襲っています。」

寒さから暑さまで

世界的には、直近 10 年の年間平均額と比べると損害は低い水準となりました。これは概ね、米国において今季のハリケーンの発生件数が少なかったことが原因でした。昨年、米国では大型ハリケーンが 10 年連続で上陸しませんでした¹。北米最大の損害となったのは 2 月中旬の冬の嵐で、最大の被害となったマサチューセッツ州をはじめとする 17 の州が損害を受けました。保険損害の総額は 20 億米ドルとなり、その主な原因は凍結による水道管の破裂、建物への着雪または浸水被害でした。

米国では厳しい冬となりましたが、2015 年は全体として記録的に暑い年となりました。熱波が世界各地で多くの人命を奪う一方で、長引く高温や降雨不足によって多くの地域で干ばつや山火事が発生しました。米国では高温と空気の乾燥した状態が続いたため、山火事の発生件数では 1960 年以来最悪の年となりました。他の国でも、インドネシアやオーストラリアなどで山火事の被害がありました。これとは対照的に、インドや英国などの地域では極端な降水による災害が起きました。インドのチェンナイでは、11 月単月の降雨量が累積で 500mm 以上に達して洪水が発生したことにより、都市の機能が麻痺しました。これに続き、英国の中部から北部にかけての地域で複数の暴風雨による洪水が 12 月に発生しました。暫定的な推定値によると、英国の洪水による保険損害額はおよそ 20 億米ドルとみられています。豪雨と洪水は、米国の一部の州でも発生しました。

2015 年の世界の天候パターンは平年からずれていましたが、エルニーニョもその要因です。例えば、北大西洋における熱帯低気圧の活動は抑制されましたが、一方で太平洋では今季非常に活発になりました。

¹ ハリケーン・サンディが 2012 年に上陸した際、嵐による災害としては過去 3 番目に大きな損害が出ました。しかし、サファ・シンプソン・ハリケーン・スケールでは「大規模」ハリケーンに指定されていません。

表 1: 2014 年と 2015 年の経済的損失額および保険損害額の総額

単位: 10億米ドル(2015年の物価水準)	2015年	2014年	変化率	10年平均
経済的損失総額	92	113	-19%	192
自然災害	80	104	-23%	181
人災	12	9	31%	12
保険損害総額	37	36	3%	62
自然災害	28	29	-3%	55
人災	9	7	28%	7

出典: スイス再保険会社経済調査・コンサルティング・CAT ペリル部

表 2: 2015 年自然災害の保険損害額上位の事故(単位: 10 億米ドル)

月	保険損害 ¹	損害総額	事象	国
8月	2.5~3.5	該当なし	天津港の爆発 ²	中国
2月	2.1	3.0	冬の暴風 ³	米国
5月	1.5	2.5	テキサスの雷雨、洪水 ³	米国
4月	1.2	1.6	雷雨 ³	米国
8月	1.1	1.6	台風「コーニー」 ⁴	日本、フィリピン 北朝鮮
12月	1.0	1.2	洪水(暴風「エヴァ」および「フランク」 ⁴)	英国、アイルランド

注: (1) 賠償責任保険および生命保険を除く、損害保険および事業中断保険で保障される事象

出典: (2) スイス再保険会社推定値 (3) Property Claims Services が許可した米国自然災害の数値およびスイス再保険会社の推定値 (4) スイス再保険会社推定値

天津: リスク集積の複雑なパズル

今回のシグマ調査では天津についての特集を組み、港のような大規模な物流拠点におけるリスクの集積にスポットライトを当てています。連鎖爆発のリスクや浄化措置のために現地に立入禁止区域が設けられたことも、保険会社が港で輸送待ちをしていた自動車など、多くの被害物件の損害査定を行う上での障害となりました。爆風の威力や当時の資産エクスポージャーの大きさは、天津が 2015 年の最大の保険事故であるだけでなく、アジアで過去最大の人災による保険事故であり、さらに世界的に見ても、過去最大級の人災保険事故であることを示しています。

表 3: 2015 年世界の人災保険損害額上位の事故(単位: 10 億米ドル)

年	国名	イベント	保険損害額	犠牲者数
2001	米国	WTC、アメリカ国防総省の本庁舎、その他建物に対するテロ攻撃	25.2	2982
1988	英国	パイパー・アルファのプラットフォーム爆発事故	3.0	167
2015	中国	天津港の危険物倉庫で発生した爆発事故	2.5~3.5*	173
1989	米国	石油化学プラントにおける蒸気雲爆発	2.4	23
1979	米国	原子力発電所の損傷	1.4	
2001	フランス	肥料工場を破壊した爆発	1.3	30

* 暫定値

出典: スイス再保険会社

今号のシグマには、災害リスク管理におけるソーシャルメディアを含むデジタル技術や映像技術の使用の現状および今後の可能性についての特集も組まれています。

スイス・リーについて

スイス・リー・グループは、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。直接、またはブローカーを通して、世界中の保険会社、中規模企業から大企業、公共部門のお客様にサービスを提供しています。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品までを携え、スイス・リーは、その資本基盤と、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にするための専門知識と革新力を展開しています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界約70カ所で事業拠点を展開しています。スタンダード&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「Aa3」、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社である Swiss Re Ltd の登録株式は、スイス証券取引所のメインスタンダードに準拠して上場しており、ティッカーシンボル SREN で取引されています。スイス・リー・グループに関する詳細は、ウェブサイト (www.swissre.com) をご覧いただくか、または Twitter で ([@SwissRe](https://twitter.com/SwissRe)) をフォローしていただきますようお願い致します。